

切れ目のない支援によるスムーズなスタートに向けて

新型コロナウイルス感染症への対策として、各学校園においても様々な対応等が求められており、お忙しい毎日を過ごされていることと思います。事態が収束し、子どもたちの命と健康を確保できる時期が来るまで、関係者一同で、協力しながら何とか乗り越えていきたいものです。

さて、このような状況の中、特別な支援を必要とする子どもたちの中には、大きな戸惑いを感じている子どももたくさんいるのではないのでしょうか。そして、間もなく、一番環境の変化が大きい4月を迎えます。例年よりも一層、丁寧な引き継ぎが必要となってきます。大変な時期ではありますが、子どもたちが安心してスムーズなスタートを切ることができるように、今までの支援をしっかりと次年度につなげていきましょう。そこで、今回は「引き継ぎ」について考えたいと思います。

効果的な引き継ぎのためには、今年度の取組等を振り返り、引き継ぐ内容を整理する必要があります。振り返りや整理する際に、下記の視点やポイントを参考にしてみてください。

なぜ効果的であったかを振り返ることで、その指導・支援の意味が明確になり、今後に生きていきます。

この子に、どんな力が育つと、学習や生活がしやすくなるのでしょうか？そういった指導内容や方法についても話しておくといいでしょう。

振り返りのポイント(例)

- 実態を適切に捉えることができていたか。
- 指導内容がどの程度身に付いているか。
- 効果的な指導・支援は何だったか。
- なぜ効果的だったのか。
- 校内支援体制は充分だったか。
- 周囲の理解や関わりはどうだったか。
(在籍学級、交流学級等)
- 今後の課題は何か。 等

支援方法のみを引き継ぐのではなく、困難さの背景にある要因も引き継いでいくようにしましょう。

そうすることで、新しい環境の中で生じるであろう困難さをイメージしやすくなると思われます。そして、その対応についても話し合っておくと良いでしょう。

これらの情報を引き継ぐときに「個別の教育支援計画・個別の指導計画」「個別支援シート」等を活用すると、引き継ぎがより確実なものになります。また、引き継ぎを受ける側にとっても、そこに記載されている情報と実際の行動観察とを照らし合わせることができ、具体的な指導・支援について考えやすくなるはずです。

※「個別の教育支援計画等」の作成と活用については、岡山県総合教育センター『eラーニング研修所』の「dh3101 平成31年度 新任特別支援教育コーディネーター研修講座 eラーニング研修」を参考に作成してください。

<http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/vod/index.htm>

特に、進学等による学校間での引き継ぎの場合は、内容が確実に伝わるように、時間を設定して丁寧な引き継ぎが行われることが大切です。一番避けたいことは、今まで行われてきた支援が途切れてしまうことです。しっかり引き継ぎを行い、支援をつないでいくことで、子どもたちの安心・安全な生活を支えていきましょう。

(担当・特別支援教育部)

【バックナンバー】 <http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/sougou/koho>